

新型コロナウイルス感染症対策について

1 患者発生状況

(1) 患者数 (感染者累計: 152,587 件 (7月14日時点)) ※過去最多: 令和4年2月3日 2,351 人

●直近の状況 (発表日ベース)

7/11 ~ 4737人

前週の同日比 (累計) +2579 人

+120%

	期間	月	火	水	木	金	土	日
今週	7/11~7/17	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17
	感染者数	304	1368	1413	1652			
	累計/週	304	1672	3085	4737			
	先週比 (累計)	+171	+822	+1583	+2579			
	先週比 (%)	+129%	+97%	+105%	+120%			
先週	7/4~7/10	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10
	感染者数	133	717	652	656	674	698	764
	累計/週	133	850	1502	2158	2832	3530	4294
先々週	6/27~7/3	6/27	6/28	6/29	6/30	7/1	7/2	7/3
	感染者数	109	378	327	334	382	358	331
	累計/週	109	487	814	1148	1530	1888	2219

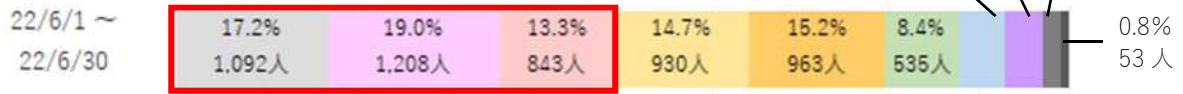
- ・直近の陽性件数の状況は、2月3日の2,351件をピークに減少傾向にあったが、6月中旬以降、再度感染者が増加。
- ・6月23日以降22日間連続で先週比より増加。直近の1週間では先週比で213%(7/8~7/14)。
- ・1,000人を超えたのは3月16日以来であり、1,500人を超えたのは2月16日以来。

期間別の感染状況

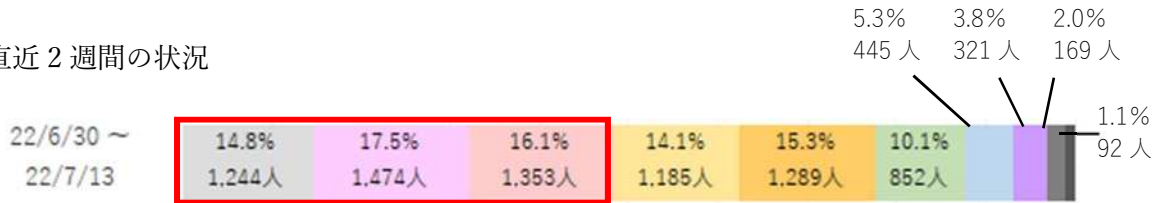


(2) 年代別の感染状況・重症度

▼6月の状況



▼直近2週間の状況



<凡例>



・20代以下で約50%を占めている。

(3) 入院・入所・自宅療養者数の直近の比較

入院・入所・自宅療養者数の直近の比較

	直近の状況 第6波(R4.1~)			【参考】過去の入院・入所患者ピーク				
				第5波 (R3.7~R3.12)	第4波 (R3.3~6)	第3波 (R2.9~R3.2)	第2波 (R2.6~9)	第1波 (R2.3~5)
	7/13	7/6	差	9/2	5/15	12/9	8/23	4/25
入院・入所患者	382人	239人	+143	532人	429人	304人	96人	140人
入院患者数	175人	115人	+60	284人	276人	170人	72人	106人
(うち重症)	(1人)	(2人)	-1	(18人)	(23人)	(11人)	(8人)	(9人)
宿泊療養施設入所患者	207人	124人	+83	248人	153人	134人	24人	34人
自宅療養者	4564人	2414人	+2150	936人	288人	—	—	—
療養先調整中	2199人	1114人	+1085	1165人	1509人	254人	36人	—

(市内在住者の数字)

①入院の状況

7月13日現在で病床使用率は50.8%(182/358床)、
重症患者病床使用率35.6%(16/45床)、うち重症者2.2%(1/45床)

②宿泊療養施設の状況

施設名	入所状況
	(7/13時点)
ニチイ神戸 ポートアイランドセンター宿泊棟 令和2年4月11日～	19/20室 95%
東横INN 神戸三ノ宮駅市役所前 令和2年8月19日～ 令和4年8月初旬閉鎖予定	54/110室 49%
ホテルサンルートソブラ 神戸アネッサ 令和3年8月20日～	48/138室 35%
ポートタワーホテル 令和3年9月18日～	43/148室 29%
ホテルサンルートソブラ神戸 令和4年1月21日～	54/176室 31%

218/592 室（5施設合計）
37%（7月13日時点）

（市外在住者を含む）

※東横 INN 神戸三ノ宮 I（88 室）については、6 月 10 日をもって閉鎖

※東横 INN 神戸三ノ宮駅市役所前（110 室）については、8 月初旬をもって閉鎖（予定）

※ニチイ神戸ポートアイランドセンター宿泊棟においては、酸素投与が必要な要介護者等の受け入れ施設として室数を 100 室から 20 室程度に変更して活用（令和 4 年 2 月 5 日～）

（4）クラスターの発生状況

・クラスターの発生状況としては、7 月 13 日現在、累計で 1,321 件。

また、第 6 波でのクラスターの発生件数は 1,063 件。

	件数							人数	
	第1波 3/3~5/20	第2波 6/23~9/23	第3波 9/25~2/28	第4波 3/1~6/30	第5波 7/1~12/31	第6波 1/1~	件数合計	人数	割合
保育所・学校	1	3	10	25	35	794	868	15037	65.7%
高齢・障害福祉施設	1	2	18	48	12	196	277	4518	19.7%
病院	2	1	14	16	6	59	98	2560	11.2%
公的機関	2	0	2	1	2	9	16	141	0.6%
民間事業所	0	0	5	11	23	5	44	475	2.1%
酒類提供飲食店	0	2	5	2	4	0	13	120	0.5%
スポーツ・娯楽施設	0	0	4	1	0	0	5	44	0.2%
合計	6	8	58	104	82	1063	1321	22,895	100%

2 変異株について

第6波では、感染力の強いオミクロン株により、感染が急拡大した。オミクロン株は複数の系統に分かれており、当初は BA. 1 系統が主流だったが、その後、BA. 2 系統に置き換わった。

神戸市健康科学研究所では、5月16日以降、独自に、より感染力が強いと言われている BA. 4 系統及び BA. 5 系統の疑いを早期検知できる変異株 PCR 検査を実施し、ゲノムサーベイランス体制を確保している。

市内では、6月16日に BA. 5 系統の1例目を、6月17日に BA. 2. 12. 1 系統の1例目を、7月1日に BA. 4 系統の1例目を、7月8日に BA. 2. 75 系統の1例目（検疫を除き国内初）をそれぞれ確認した。現在、BA. 4/BA. 5 系統疑いは 55.0%（7月13日時点）となっており、BA. 4 系統や BA. 5 系統への置き換わりが進んでいる。

※BA. 4 系統/BA. 5 系統/BA. 2. 12. 1 系統/BA. 2. 75 系統について

BA. 2 系統と比べた実効再生産数は、BA. 5 系統は 1.27 倍、BA. 4 系統は 1.71 倍、BA. 2. 12. 1 系統は 1.21 倍高いことが示唆されているが、いずれも既存のオミクロン株と比較して重症度の上昇につながる証拠はみられない。BA. 4 系統、BA. 5 系統、BA. 2. 12. 1 系統、BA. 2. 75 系統は、ワクチンの効果を弱める可能性が示唆されている。

（参考：国立感染症研究所 感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルスの変異株について（第18報）、第90回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料、国立感染症研究所 新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株 BA. 2. 75 系統について）

○L452R 変異株 PCR 検査の状況（令和4年7月13日時点）

発生届出日	変異株 PCR 検査数	オミクロン株			
		BA. 1/BA. 2 系統疑い		BA. 4/BA. 5 系統疑い	
5/16-5/22	515	515	100%	0	0%
5/23-5/29	376	376	100%	0	0%
5/30-6/5	230	230	100%	0	0%
6/6-6/12	194	192	99.0%	2	1.0%
6/13-6/19	202	188	93.1%	14	6.9%
6/20-6/26	264	228	86.4%	36	13.6%
6/27-7/3	382	254	66.5%	128	33.5%
7/4-7/10	516	232	45.0%	284	55.0%
計	2,679	2,215	-	464	-

※届出日から陽性検体回収にタイムラグがあるため、発表後も数値が変更されることがある。特に、直近1週間の届出日分について、次回発表時に数値が変動する可能性がある。

○ゲノム解析の状況（令和4年7月13日時点）

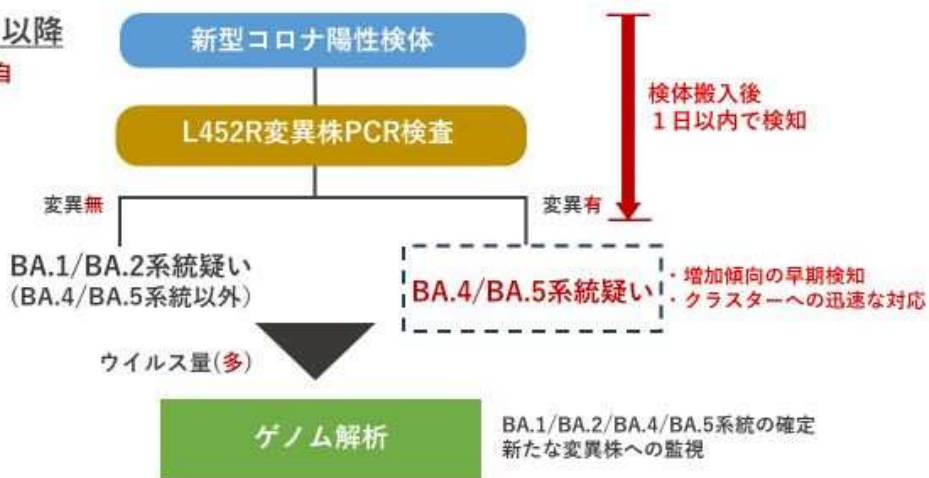
発生届出日	ゲノム 確定件数	オミクロン株							
		BA.1 系統		BA.2 系統		BA.4 系統		BA.5 系統	
1/10-1/30	1,274	1,260	98.9%	2	0.2%	0	0%	0	0%
1/31-2/27	1,505	1,485	98.7%	17	1.1%	0	0%	0	0%
2/28-3/27	807	621	77.0%	186	23.0%	0	0%	0	0%
3/28-4/24	586	143	24.4%	443	75.6%	0	0%	0	0%
4/25-5/29	1,151	34	3.0%	1,117	97.0%	0	0%	0	0%
5/30-6/5	141	0	0%	141(1)	100%	0	0%	0	0%
6/6-6/12	149	0	0%	147(1)	98.7%	0	0%	2	1.3%
6/13-6/19	150	0	0%	137(2)	91.3%	0	0%	13	8.7%
6/20-6/26	178	0	0%	149(3) [1]	83.7%	2	1.1%	27	15.2%
6/27-7/3	257	0	0%	156(11)	60.7%	7	2.7%	94	36.6%
	6,198	3,543	-	2,495(18) [1]	-	9	-	136	-

※届出日から陽性検体回収にタイムラグがあるため、発表後も数値が変更されることがある。特に、直近1週間の届出日分について、次回発表時に数値が変動する可能性がある。

※BA.2系統の()内の数字はBA.2.12.1系統の内数を、[]内の数字はBA.2.75系統の内数を表す。

5月16日以降

※神戸市独自



3 感染拡大防止、医療提供体制の確保

基本的な感染対策（マスク・手指衛生・換気）の徹底に加え、以下の対策を行う。

(1) 病床の確保（7月14日時点）

- ・受入可能な病床は358床（うち重症病床45床）。
- ・さらに感染拡大した際には、再度、公的病院で臨時的に最大36床（うち重症病床8床）を拡大する。（最大394床（うち重症病床53床））
- ・病床ひっ迫時には、市民病院において通常医療を制限し、最大439床（うち重症病床53床）を確保する。

（参考）兵庫県の医療提供体制にかかるフェーズ：「フェーズⅢ感染拡大期1」

フェーズ		①	②	③感染拡大期1	④感染拡大期2	⑤感染拡大特別期	
フェーズ切替の契機	病床利用率	10%未満	10%以上	20%以上	50%以上	総合的に判断 (800人以上)	
	新規感染者週平均 [週患者数/10万人対]	20人未満 [2.5人未満]	20人以上 [2.5人以上]	80人以上 [10人以上]	400人以上 [50人以上]		
体制	構築の考え方	20人の新規感染者 に対応	80人の新規感染者 に対応	400人の新規感染者 に対応	800人の新規感染者 に対応		
	病床	病床数	300床程度	600床程度	1,000床程度	1,200床程度	1,400床程度～
		うち重症	30床程度	60床程度	100床程度	120床程度	140床程度～
	宿泊	室数	300室程度	1,000室程度	1,500室程度	2,000室程度	2,400室程度～

(2) 重症化防止対策の強化

社会経済活動への影響に配慮しながら、重症化リスクの高い方への対応に重点化し、重症化防止対策を行っていく。

また、ワクチン接種については、重症化リスクの高い方（高齢者、基礎疾患のある方）については、重症化防止のため、速やかに4回目接種を受けていただくよう呼びかけを強化する。

①高齢者、障害児・者施設における定期的検査・積極的検査

- ・定期的検査

（現在）プール検査（PCR検査）：週1回 →（7月19日～）抗原定性検査：週2回

高齢者施設等での職員経由の感染拡大を防ぐため、7月19日より、①プール検査（PCR検査）を抗原定性検査に変更し、②頻回に実施する（週1回→週2回）とともに、③実施期間を9月まで延長する。

※理由

- ・高齢者施設等の職員には4回目のワクチン接種がされないこととなったため、時間の経過とともに職員の感染防止力は低下し、感染のリスクが高まることが予想される。
- ・プール検査（PCR検査）では、結果が判明するまで4日以上のかかるが、感染速度が速いオミクロン株の特性から、検査結果が出る前に感染が拡大してクラスターが発生する恐れがある。
- ・プール検査（PCR検査）に比べ精度は落ちるが、結果がその場で出る抗原定性検査に変更し、より頻回（週2回）に実施することで陽性者を早期に発見することができる。
- ・施設での陽性患者発生の際の積極的検査
重症化リスクの高い高齢者、障害児・者施設において陽性患者が発生した場合に、疫学調査による濃厚接触者の有無にかかわらず、念のためにフロア全員に対し行う積極的検査については、引き続き実施。

②自宅療養者への早期対応による重症化防止

- ・重症化リスクの高い患者への対応の重点化
区保健センターは、重症化リスクのある自宅療養者の健康観察等を行い、それ以外の方については自宅療養フォローアップセンターで対応を行うことで、重症化防止の強化を図っている。
- ・自宅療養者に対する外来受入医療機関の確保
外来受入医療機関数：22 医療機関（6月30日時点）
外来受入実績：令和4年度302件（6月30日時点）
- ・往診、電話診療、オンライン診療の実施（24時間対応）
令和4年度実績（6月30日時点）：往診:108件 電話診療:122件 オンライン診療:8件

③要介護者の療養体制の強化

○高齢者施設等への医療提供体制の強化

- ・感染制御・業務支援チームの派遣
入所施設への派遣：89件（1月1日～7月13日）
- ・施設内での経口薬等による治療の早期実施
（実績）
高齢者施設（介護老人保健施設/特別養護老人ホーム）の嘱託医等の処方医療機関
登録：172か所のうち、166か所 登録（7月2日時点）
- ・地域の医療機関との連携による往診体制の構築
- ・生活支援も含む訪問看護ステーションの確保
訪問看護ステーション契約数：31か所（7月5日時点）
- ・陽性患者宅へ訪問介護事業者がサービス提供できるよう、感染症研修内容を継続的に動画配信
- ・高齢者施設等への感染症予防対策の巡回訪問指導

○要介護者の入院受入体制等の強化

- ・要介護者の入院受入支援金の創設
入院が必要となった要介護者を受け入れる医療機関に対する支援金（同時期に要介護者を複数名受入等で、1施設：最大300万円）を4月1日より創設し、全てのコロナ受入病院を個別に訪問し、改めて受け入れ依頼を行った。
（実績）

■登録実績：30病院中27病院（7月13日時点）

■受け入れ実績（7月13日時点）

	制度開始前	→	制度開始後
受け入れ実績あり	16病院		26病院
うち、 複数名の受け入れ実績あり	3病院		22病院

※回復後の要介護者の転院受け入れが可能な医療機関をリスト化し、共有
実績：40病院（7月13日時点）

- ・宿泊療養施設の更なる強化（要介護者の一時的受入体制の強化）
施設入所等要介護者の緊急入院が必要となった場合で、休日・夜間など入院調整に時間を要する場合等に、入院するまでの間の一時的に対処する機能を強化するため、ニチイ神戸ポートアイランドセンター宿泊棟の入所定員を20名程度から30名程度に拡大予定。

	現状	強化後 (病床使用率が60%になれば準備を開始)
定員	20名程度	30名程度
定員内訳	要介護者：8名程度 重症化リスクの高い患者： 12名程度	要介護者：20名程度 重症化リスクの高い患者： 10名程度
1日の最大受入	2名	5名
受入実績	・7月13日時点入所者：23名 ・2/5～7/13までの入所者合計：262名	

4 後遺症対策

(1) 後遺症実態調査の概要とその結果

12月～1月に、第4波の感染者（主にアルファ株）のうち4,276人（回答者：1,621人）に対し、後遺症実態調査を実施し、回答者の約5割から「退院日または療養終了日以降も症状あり」との回答があった。

(2) 主な対策

①後遺症相談ダイヤルの設置

後遺症に関する悩みを抱えている方への相談窓口として開設。（令和3年11月1日～）

【相談実績】2,322件（令和3年11月1日～令和4年7月10日）

【医療機関】後遺症診察対応医療機関数：198機関

②アフターコロナ健診（6月20日より受付開始）

コロナ罹患後患者が受診できる健康診査の受診機会を提供。

（身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査、結核健診を実施。）

③後遺症リハビリ

- ・健康リスク改善事業（6月20日より受付開始）

健康ライフプラザで6か月間、計3回の体力測定のほか、週1回までの運動指導やスポーツジムエリアの利用

- ・セルフリハビリプログラム（7月公表予定）

筋力低下対策動画を作成し、市ホームページ等で放映。

5 新型コロナワクチン接種

(1) 追加(4回目)接種の状況

令和4年6月1日から重症化予防を主な目的として、3回目のワクチン接種から5カ月が経過した「①60歳以上の方(努力義務あり)」及び「②18歳以上で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方(努力義務なし)」に対して4回目の追加接種を開始した。

神戸市では、「①60歳以上の方」には手続き不要で順次接種券を発送するとともに、「②18歳以上で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方」に対しては、接種券発行申請後すぐに使用できる「こうべE-mail接種券」を発行するなど、引き続き、接種を希望する市民が迅速に接種を受けられるよう接種体制を整えている。

※国は、医療従事者や高齢者施設等従事者等について、4回目接種の有効性に関する報告や諸外国の状況、新型コロナウイルス感染症の重症化の状況などを踏まえ、医療機関や高齢者施設等で従事していることのみをもって4回目接種の対象にはならないとしている。

なお、「4回目接種の対象者の範囲については、引き続き様々な情報を収集しながら検討を行っていく」としている。

(2) 接種実績

(令和4年7月11日時点)

		接種済み者数	神戸市人口比	接種対象人口比
2回目接種実績(5歳以上)		1,181,274	78%	81%
3回目接種実績(12歳以上)		860,755	57%	73%
4回目接種実績	(60歳以上)	20,573	1.4%	4.5%
	(18歳以上60歳未満)※	346		—

※18歳以上60歳未満の4回目接種の対象は、基礎疾患を有する方等に限る。

3回目未接種者に対し、速やかに接種を受けていただくよう呼びかけを強化する。

○小児接種

令和4年3月から、個別接種医療機関において小児(5歳から11歳)への新型コロナワクチン接種を実施。(市内165か所)(令和4年7月11日時点)

	接種済み者数	接種対象人口比
1回目接種実績	7,420人	8.6%
2回目接種実績	6,932人	8.0%

(3) 接種体制

①個別接種医療機関（市内 831 か所）

（令和4年7月12日時点）

区	医療機関数	区	医療機関数
東灘区	136	長田区	45
灘区	91	須磨区	78
中央区	129	垂水区	99
兵庫区	55	西区	106
北区	92	合計	831

②集団接種会場（16 か所）

区	会場名	ワクチン	備考
東灘区	東神戸センタービル WEST 棟 8 階	モデルナ	
	神戸ファッションプラザ 9 階	モデルナ	
灘区	灘区文化センター 5 階	モデルナ	
中央区	センタープラザ 9 階	モデルナ	
	市役所 1 号館 24 階 (夜間接種会場 (平日 18:00~21:00))	ファイザー	
	アリストンホテル神戸 2 階	モデルナ	
兵庫区	兵庫区役所 2 階 (みなとがわホール)	モデルナ	
北区	北区文化センター (すずらんホール 2 階)	モデルナ	※1
	エコー・リラショッピングセンター本館 5 階	モデルナ	
長田区	長田区文化センター 3 階	モデルナ	
須磨区	須磨区役所 4 階	モデルナ	
	須磨パティオ健康館 2 階	モデルナ	
垂水区	レバンテ垂水 2 番館 4 階 (旧垂水区文化センター)	モデルナ	※2
西区	西神中央駅ビル 2 階北側	モデルナ	
	JA 兵庫六甲西神文化センター 4 階	モデルナ	
	キャンパススクエア本館 2 階	モデルナ	

※1 北区文化センター (すずらんホール 2 階) は、8 月 1 日から 8 月 24 日は北区文化センター (本館)、8 月 29 日以降は鈴蘭台プラザ (鈴蘭台北神鉄ビル) に移転予定。

※2 レバンテ垂水 2 番館 4 階 (旧垂水区文化センター) は、7 月 22 日に垂水年金会館へ移転予定。

③施設接種の促進

市内の高齢者施設・障害者施設等での接種について、迅速に完了できるよう支援する。

- ・ 接種実施にかかるマニュアルの提供
- ・ 利用者等の接種券の確保支援
- ・ 施設等からの個別相談対応

- ・ ワクチンの優先供給
- ・ 神戸市医師会と連携した接種医のあっせん（接種医を確保できない場合）

④訪問接種

寝たきり状態などにあり移動が難しい方など、医療機関や集団接種会場で接種を受けることが難しい方のご自宅に、医師や看護師などで構成された巡回接種チームを派遣。

○対象者

高齢者等で医療機関や大規模・集団接種会場に行くことができず、往診での接種もできない方とその介護者・同居者等

○申し込み方法

ケアマネージャー・障害者相談支援センターを通じて申し込みを受け付け

⑤配慮が必要な方のための接種会場

知的障害者（療育手帳所持者）、精神障害者（精神障害者保健福祉手帳1級所持者）の方等で、集団接種会場等で新型コロナワクチンを接種することが難しい方やその介助者のための接種会場を設置。

○対象者

「療育手帳」または「精神障害者保健福祉手帳1級」を持っている方等で、かかりつけ医や集団接種会場での接種が困難な方

○申し込み方法

専用予約電話（078-277-3327）で予約を受け付け

○開設場所・日時

神戸市役所1号館24階（中央区加納町6丁目5-1）

日程：毎週木曜日（13：30～16：30）

6 マスクの着用、熱中症対策について

(1) マスクの着用についての考え方

国の新型コロナウイルス感染症基本対処方針（5月23日更新）にてマスクの着用について改めて考え方が示されたことから、関係機関等に周知を行っている。

- 「屋内・屋外」、「身体的距離」、「会話」の3点から基本的なマスク着用の考え方を示しており、
 - ・屋内では、原則マスク着用を推奨するが、2メートルの身体的距離を確保し会話をほとんど行わない場合は、マスク着用の必要はなし。
 - ・屋外においては、原則マスクを着用する必要はないが、2メートルの距離を確保できず会話をする場合にはマスクの着用を推奨。

(参考) 国のマスク着用の考え方

【屋外】

	2 m以上の距離が確保できる	2 m以上の距離が確保できない
会話をする	<u>マスク必要なし</u>	マスク着用推奨
会話をほとんど行わない	<u>マスク必要なし</u>	<u>マスク必要なし</u>

【屋内】

	2 m以上の距離が確保できる	2 m以上の距離が確保できない
会話をする	マスク着用推奨 ※十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可	マスク着用推奨
会話をほとんど行わない	<u>マスク必要なし</u>	マスク着用推奨

○就学前の子どもについて

- ① 2歳未満の子どもには、引き続き、マスクの着用は推奨しない。
- ② 2歳以上就学前の子どもには、他者との身体的距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めない。

※濃厚接触者についてはこれまで通り、マスクなしで15分以上、1m以内で接触した方を対象とする。

(2) 熱中症対策

夏場は、熱中症防止の観点から、マスクの必要のない場面ではマスクを外すことを推奨しており、「神戸市熱中症予防対応指針」について、以下の通り周知を図っている。

- 3密（密集・密接・密閉）な場所では、マスクの着用が必要であるが、人と十分な距離（2m以上）が保てる時には、マスクを外すこと。
- 就学前児童のマスク着用について
 - ・2歳未満：マスク着用は奨めない。
 - ・2歳以上：個々の発達の状況や体調等を踏まえる必要があることから、他者との身体的距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めない。

熱中症対策については、市ホームページや広報紙、花時計ギャラリー、ラジオ関西での放送、教育委員会による保護者向け連絡ツール（すぐーる）による啓発を行っている。

今後、マスク着用の注意点を内容にいったチラシの配布や、ポスター、デジタルサイネージ、広報紙、のぼりなどによる啓発を実施予定。その他、サンテレビ「KOBE 元気いきいき体操」での放送や、企業と連携した三宮駅前での啓発イベントなども企画している。

